

大谷・小鹿地区の現状

地区特性	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡駅や東静岡駅から3km以上離れている ・地区内にバス停がなく、大半がバス停勢圏(300m)から外れている ・自転車や自動二輪の交通分担率が高く、徒歩や鉄道の分担率が低い ・自動車の交通事故が多い(静岡市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人当たりの二酸化炭素排出量が多い(静岡市全体) ・地区内や地区周辺に公園等の緑地は少ないが、東側に日本平山林を有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区周辺は、北側の工場群を除いて大半が住宅用地となっている ・人口密度が低く、昼間人口が多い ・高齢化が進んでいる(静岡市) ・自治体加入率は減少傾向(静岡市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内をサイクリングコースが通っている
これまでの検討・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・先行整備地区の整備が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行整備地区の整備が進んでいる ・恩田原・片山地区が脱炭素地域に選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行整備地区の整備が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行整備地区の整備が進んでいる
その他留意すべき点(社会的背景)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの推進 ・デジタル技術の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの推進 ・デジタル技術の進展 ・脱炭素社会の実現に向けた取組の加速 ・全国的に電力供給が厳しい状況 ・電気料金は上昇傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの推進 ・デジタル技術の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの推進 ・デジタル技術の進展 ・新型コロナウイルスの懸念 ・国民医療費増加の見通し ・医療に対するニーズの変化

まちづくりの4つの視点	<p>モビリティ (快適な移動環境)</p> <p>行きたい場所に快適に移動できる</p>	<p>エネルギー (クリーン×安心)</p> <p>暮らしの満足度を下げずに省CO2、省エネを実現する</p>	<p>コミュニティ (暮らしの充実)</p> <p>まちに賑わいを生み、地域への愛着を高める</p>	<p>ウェルネス (健康長寿の促進)</p> <p>日常生活の中で健康を維持できる</p>
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物、病院難民 ・交通事故の頻発 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染・CO2 ・災害時のエネ不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの活力衰退 ・住民の孤立 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の運動不足 ・受診が困難
課題	<p>【議題】 各々が自由に移動できる「快適な交通環境のまち」とは、どんなものだと思いますか？</p>	<p>【議題】 省エネルギー推進・二酸化炭素排出量削減などの「安全・安心、クリーンなまち」に向けて建物や暮らし方など、どんなことができそうですか？</p>	<p>【議題】 新型コロナウイルス感染症の影響などによる「新しい日常」や新たに転入した人たちを含めて、地域の人々がどのように交流し、関係を築いていくのがいいのでしょうか？</p>	<p>【議題】 「健康長寿なまち」にしていくために、今後どのようなことをすればいいのでしょうか？</p>
あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段の多様化 ・交通の安全性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の実現 ・災害時の安心安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの賑わい ・住民・訪問者の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の健康維持 ・受診が容易に